

構成員

機構長 岡 正明 (連携担当理事/副学長)

副機構長 小田 隆史 (准教授)

統括プロデューサー 武田 真一 (特任教授)

特任教員 野澤 令照 (学長特別補佐/特任教授)

研修コーディネーター 千田 康典 (特任准教授)

兼務教員 市瀬 智紀 (教員キャリア研究機構長/教授)

兼務教員 梨本 雄太郎 (教授)

兼務教員 三品 佳子 (助手)

客員教授 佐藤 健 (東北大学災害科学国際研究所教授)

沿革

- 2011.3.11 東北地方太平洋沖地震発生
- 2011.3 「みやぎ・仙台未来づくりプロジェクト」発足
- 2011.6.28 改組し「宮城教育大学教育復興支援センター」設立
- 2016.4.1 改組し「宮城教育大学附属防災教育未来づくり総合研究センター」設立
- 2019.4.1 改組し 宮城教育大学防災教育研修機構「311いのちを守る教育研修機構」設立



国立大学法人宮城教育大学防災教育研修機構 311いのちを守る教育研修機構

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉149番地
[TEL] 022-214-3296
[E-mail] fukkou@adm.miyakyo-u.ac.jp
[Web] <http://drr.miyakyo-u.ac.jp/>

「ともに生き抜く」
チカラを次代へ
「東日本大震災の知見を伝え続ける」

311いのちを守る教育研修機構



国立大学法人
宮城教育大学
防災教育研修機構

311の経験の教訓を、未来へとつなぐために

「311いのちを守る教育研修機構」活動趣旨

2011年3月11日に発生した東日本大震災は多数の人命を奪い、学校現場においても多くの児童・生徒たちの未来が一瞬にして閉ざされました。
未曾有の災害が生み出した大きな悲しみを、次代を担う子ども

たちの命を守る貴重な教訓とし、失われた尊い命が生きた証とするために、私たちは被災地の教員養成大学としての使命感を持って本機構を設立し、国内外の教職員の防災力向上に向けて活動してまいります。

包括的な活動・経験を日本および海外の学校安全の向上に役立てるために

南海トラフ地震や首都直下地震の想定域を中心に、日本全国や諸外国の学校現場における防災に関する教育及び学校安全の向上に寄与し、「いのちを守り」、「ともに生き抜く」力を身につけるための教育研修拠点を形成します。

災害経験の伝承と承継

東日本大震災(311)をはじめとした自然災害の被災校の災害経験や教訓を収集・分析し、絶えず伝承・承継します。

防災・学校安全に関する全学的な研究活動

学校管理下での犠牲が繰り返されないよう、学校における防災教育と学校安全の徹底に関する研究活動を大学全体で進めます。

未来の教員の防災リテラシー向上

研究成果を本学の学生に教授し、防災リテラシーを向上させ、学校現場での防災に関する指導力や対応力を強化します。

震災遺構を活用した実地研修

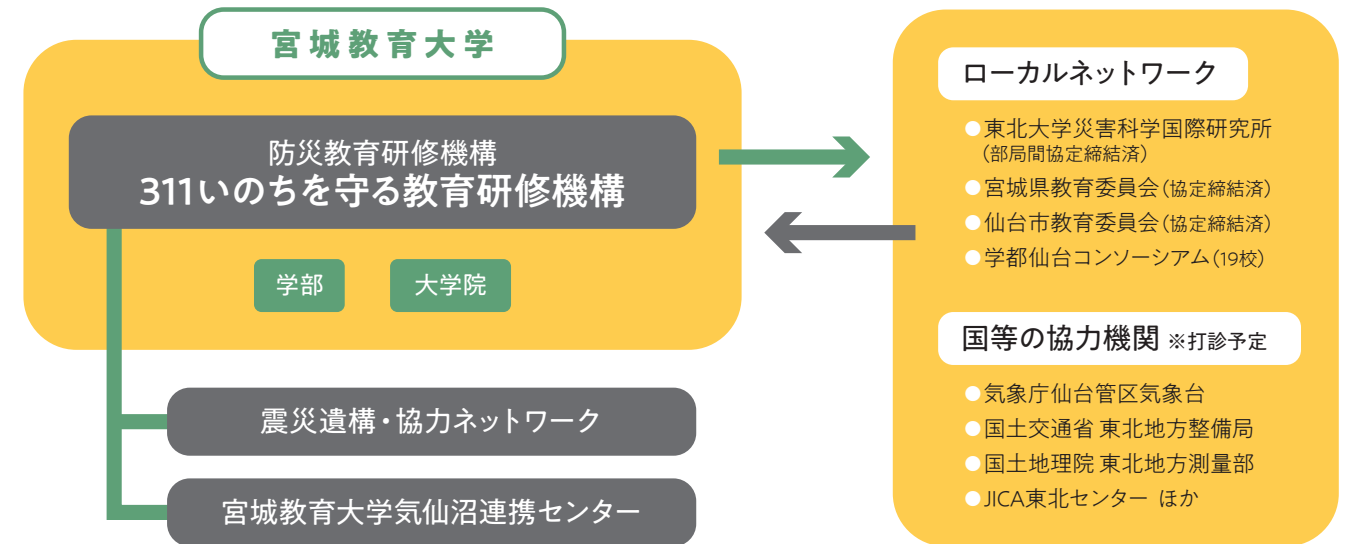
震災遺構を活用して、現職の教員に対する防災研修を行い、教員の世代交代による震災記憶・教訓の風化を防ぎ、教員の防災力の向上に寄与します。

地域・国立機関との協力体制

宮城教育大学では震災遺構や語り部などといった沿岸部の関係施設・団体と密に連携し、国内各地の現職教員や教育系学生に対して実地研修などを行っています。

また、東北大学災害科学国際研究所や海外の研究機関等との

協働を通じて、本機構の研修カリキュラムの評価や改善を行い、高度な防災人材開発の研究・実践を行います。国や地方自治体、NPO等との連携関係(協定・覚書等)を活用し、相互に有益な連携関係を促進します。



全国・世界とのネットワーク形成

将来発生することが予測されている南海トラフ巨大地震および首都直下地震の想定域を中心に、全国的に展開する学校防災の教育研修拠点となることを目指します。

また、連携協定を締結しているタイ教育省やアジア工科大学(AIT)防災減災管理学術院(DPMM・タイ所在)、ハワイ大学マノア校等の機関や、国連大学(東京)が事務局となっている持続可能な社会づくりのための大学院ネットワークProSPER.Netとの連携をはじめ、国際協力に関する機関と国際的な防災教育協力を展開します。

- 連携強化地域
- 本事業重点地域 (南海トラフ・首都直下型地震想定域等)



地震や津波による被災経験を活かしての学校防災関係でのグローバルネットワーク(協定締結/加盟済)

- タイ教育省次官室(国立教職員開発研究所)
- アジア工科大学防災減災プログラム(AIT、タイ・バンコク)
- ハワイ大学マノア校
- ユネスコスクール(ASP)ネットワーク
- 国連大学ProSPER.NET

これまでの活動一例

被災地への学生ボランティア派遣および防災関連イベント・セミナーの開催、そして被災地域における教育問題の実態把握・分析、学校教育問題や防災教育のあり方などを研究してきました。



防災教育教材の開発
震災遺構荒浜小学校を活用した防災教育のための教員用引き、および児童・生徒向けのワークシートを作成しました。



教員向け情報誌の刊行
2014~2016年度、宮城県内の被災小・中学校の教員・児童らへの取材を元に、情報誌「ちょっとたいむ」を刊行しました。



311を語りあうゼミナールの様子
311を知り、向き合い、学び、語り合う学生主体のゼミを定期的に開催します。



現職教員の被災地研修開催の様子
震災遺構等の伝承施設を訪問し、311の教訓を体験者から直接伺い学ぶ研修を展開します。